



行政相談委員 関東管区行政評価局長表彰を受賞

根本 憲 行政相談委員（麻生）

9月7日（月）に、根本 憲行政相談委員が、関東管区行政評価局長表彰を受賞しました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱を受け、地域住民の身近な相談相手となり、行政サービスに関する苦情・相談や行政の仕組み・手続きに関する問い合わせなどを広く受け付けています。

根本委員は、行政相談委員として長年にわたり活動し、その業績が特に顕著で他の模範と認められるとして、このたび表彰されました。

根本委員は、9月17日（木）に鈴木市長を表敬訪問し、受賞を報告しました。



行方市保幼小の連携・接続のための研修会

8月5日（水）、北浦庁舎において、幼児教育施設職員と小学校教員・中学校教員による令和2年度行方市保幼小の連携・接続のための研修会を実施しました。

講師の茨城大学教育学部附属幼稚園副園長の水内幸恵先生から「学びをつなげるために ～子どもの育っていく姿を考えることの大切さ～」について講話をいただき、「非認知的スキル（忍耐力・協同性・計画力他）を育てる重要性」「学びにつなげるために子どもの興味・関心を捉えること」「見えない幼児の内面の育ちを可視化して、保護者や小学校へ伝えること」「保幼小中のそれぞれの育ちを共有すること」等について学びました。

参加者からは「子どもの発達欲求に寄り添うことが大切であり、幼児教育施設・小学校・中学校が目的を共有し、それぞれの職場で『発達』を意識して子どもの姿を見とっていくことの大切さを学ぶことができた」という意見が多く聞かれました。

それぞれの教育を理解し、子どもの育ちをつなげるため、今後も研修していきます。



（左から）横田教育長 鈴木市長
中島月音さん（玉造中）荒木田七咲さん（麻生中）男庭至さん（北浦中）

豪雨被害のあった九州へ義援金 市立中学校3校 生徒会オンライン・サミット

市立中学校3校の生徒会長が、9月9日（水）に市長室を訪ね、3校合同で行った7月の九州豪雨への義援金を手渡しました。

今回の義援金は、コロナ禍の中、3校の生徒会で立ち上げた「行方市中学校生徒会オンライン・サミット」の活動の一環で「3校合同で人のためになることをしたい」と話し合い、3校において8月の2週間程度にわたり、生徒から善意を集めたものです。集められた合計47,003円全額を市に寄贈しました。義援金は、市社会福祉協議会を通して被災地に送られます。

3校を代表して、玉造中の中島月音さんは「ニュースで九州の豪雨被害を見て、募金の送り先を決めました。みんなの思いが届けば良いと思います」と話しました。また、今回の契機となった生徒会オンライン・サミットについて、麻生中の荒木田七咲さんと北浦中の男庭至さんは「リモートでの会議は、3校とも初めての取り組みで新鮮でした。他の学校の生徒会の取り組みを聞いて、お互いに良いところを取り入れることもできました」と話しました。